

東京都大学提案 専修大学受託事業 「未来を担う子どもたちへの食品寄贈事業」

<品川区内の子ども食堂へ 安心安全に良心をお届けするフードドライブを推進>
食を必要とする子どもたちに向けた食品寄贈
フードドライブ実施を支援

主催：一般社団法人サスティナブルフードチェーン協議会
協力：社会福祉法人品川区社会福祉協議会、
株式会社阪急阪神百貨店、エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社

一般社団法人サスティナブルフードチェーン協議会（東京都千代田区／代表理事：小林富雄／略称：SFA）は、東京都大学提案 専修大学受託事業 「未来を担う子どもたちへの食品寄贈事業」において、一般の方々の良心のこもった寄贈食品を子どもたちに寄贈する「フードドライブ」の実施を促進するため、エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社のグループ会社、株式会社阪急阪神百貨店（本社：大阪府大阪市）が運営する阪急百貨店大井食品館（東京都品川区）が、関東で初めて開催するフードドライブ活動を支援しました。

フードドライブとは、家庭で余っている食品を集めて、食品を必要としている地域のフードバンク等の生活困窮者支援団体、子ども食堂、福祉施設等に寄付する活動のことです。※ ※環境省 フードドライブ実施の手引きより引用

昨今フードドライブ活動は多くの自治体や社会福祉協議会、そして多くの企業が窓口となり積極的に実施され、支援の輪が広がっています。その一方で回収品（寄贈食品）のミスマッチや対象外食品の寄付、食品事故への懸念や食品の検品・集計・運搬の負担など課題も多く聞かれます。

株式会社阪急阪神百貨店にとって関東エリア初の開催となる今回のフードドライブ活動は、阪急百貨店大井食品館が6月15日（土）・16日（日）の2日間実施。両日とも正午～午後4時に、店舗内特設会場において、お客様がご家庭からお持ちになった寄贈食品を社員が対面式で受け取る安心安全なフードドライブ活動を行いました。受け取った食品は社員が検品・集計を行い、活動に賛同された社会福祉法人品川区社会福祉協議会にお届け。品川区の子どもたちを支援する子ども食堂のネットワークの事務局を担う品川区社会福祉協議会を通じて、最適なマッチングによる寄贈が実現しました。

地域の中で、それぞれが役割を担い、良心のこもった寄贈食品を、必要とする子どもたちや支援団体に地域の社会福祉協議会を通じて寄贈する本スキームを、当団体でもぜひ啓発・普及し、推進していきたいと考えています。

SFAでは2021年は加工食品、2022年は日配品といった多様な食品の寄贈実証を通じて、子ども支援・福祉団体の寄贈ニーズに合わせた配送方法で夏・冬休みに食を必要とする子どもたちに食品寄贈を推進してきました。2023年はマッチング機能に基礎自治体、仕分け・配送を地域の就労継続支援B型事業者と協働で実現するなど、地域共生型食品寄贈スキームの構築と、様々な食品寄贈の在り方を検証し、推進しています。

今後も、本取り組みをモデル事業として普及し、食品寄贈における課題の解決や“地域共生社会”実現に向けた貢献を進めてまいります。



大井食品館 フードドライブの様子

【本件に関するお問い合わせ先】

一般社団法人サスティナブルフードチェーン協議会事務局 担当：山崎・国友

TEL.080-5896-5995 MAIL : info@j-sfa.net

■ 阪急百貨店 大井食品館 フードドライブ 実施概要

タイトル：おうちで眠っている食品を、必要な人に届けます。

誰かに届ける、小さなおすそわけ。

FOOD DRIVE



実施日：2024年6月15日（土）～6月16日（日） 正午～午後4時 1F特設会場

主催：株式会社阪急阪神百貨店 阪急百貨店 大井食品館、エイチ・ツー・オー・リテイリング株式会社

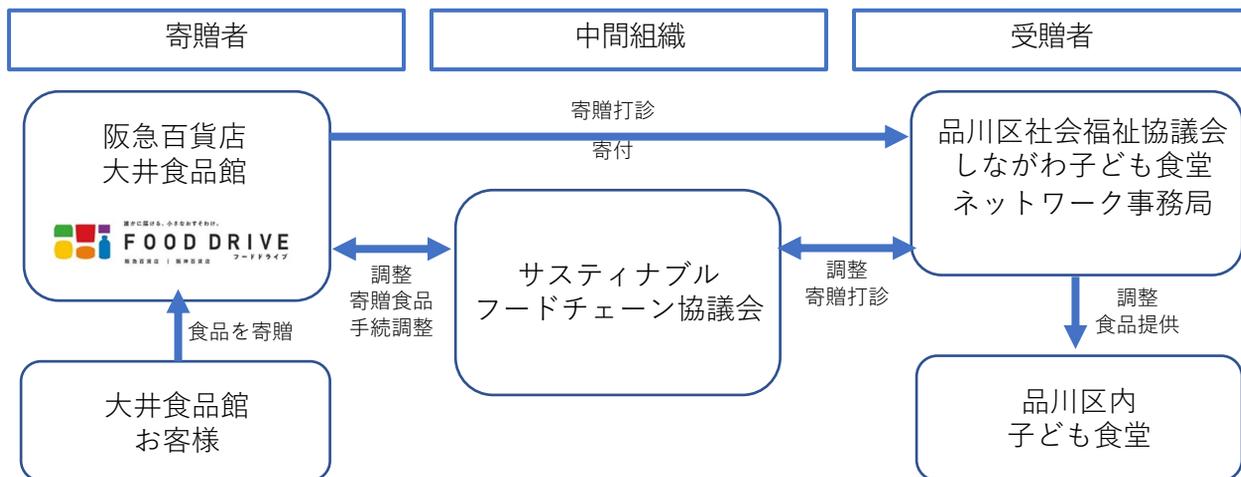
協力：社会福祉法人品川区社会福祉協議会、一般社団法人サステイナブルフードチェーン協議会

寄贈先団体：社会福祉法人品川区社会福祉協議会（しながわ子ども食堂ネットワーク事務局）

品川区内子ども食堂

■ 食品寄贈スキーム

フードドライブ 阪急百貨店 大井食品館×品川区社会福祉協議会連携 地域共生モデル



■ 阪急百貨店 大井食品館

フードドライブ活動の様子

大井食品館
フードドライブ会場



大井食品館店長が品川区社会福祉協議会へ
フードドライブの食品をお届け・寄付



大井食品館フードドライブで集まった食品

■ フードドライブ 大井食品館×品川区社協連携 地域共生モデルに参加いただいた皆様のコメント

【社会福祉法人品川区社会福祉協議会 しながわ子ども食堂ネットワーク事務局 西宮 令子さん】

この度はフードドライブを開催いただきありがとうございました。

私たち、しながわ子ども食堂ネットワーク事務局は広域での支援ではなく、地域での支援を大切にしております。そのため、今回のフードドライブ活動のように大井での地域に根差した株式会社阪急阪神百貨店 大井食品館さんの呼びかけ、地域の方の協力で集まった食材は大変ありがたいものです。

いただきました食材は、子ども食堂へ大切にお届けし、調理に使っていただいたり、子どもたちにお渡しします。今後とも継続的な地域の子もたちへのご支援にご協力の程よろしく願いいたします。

【阪急百貨店 大井食品館 店長 山野 彰雄さん】

今回、大井食品館としては初めてフードドライブ活動を実施しました。ご協力していただいたお客様からは「食品を寄付したいけど、そのような場所がなかったので今回寄付できて良かった」というお声も頂戴し、地域のお客様にこのような場をご提供することができて嬉しく思っています。

私どもは、食の専門店として地域のお客様に販売も含めたサービスを提供してまいりましたが、このように、食品ロスの観点も含めたお客様と一緒に取り組める「フードドライブ」活動は実施出来ていませんでした。今回初めて実施したことで、私どもも大変良い勉強になりました。これからもさらに大井町の地域に貢献できるような取り組みを少しずつ実施していきたいと考えております。

【エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 経営企画室 サステナビリティ推進部 CSR推進担当 吉田 玲子さん】

当社グループにとって関東での初めての実施は色々和不案内なことも多く、SFAの皆様にお力添えをいただいて大変感謝しています。今回の取り組みを通じ、地域の皆様にとっての店舗が、地域の一員として、より身近な存在となっていくことを願っています。

【一般社団法人サステナブルフードチェーン協議会 アドバイザー 国友 千鶴】

ご家庭で余っている食品を善意として提供される「フードドライブ」活動は、多くの自治体や企業が主体となり実施されています。安心・安全に食が必要とする子どもたちに寄贈することがより多くの地域で普及することを願いながら様々な寄贈をサポートしてまいりました。今回のフードドライブでは、関東圏で初めてフードドライブ活動をされたいとエイチ・ツー・オー リテイリング株式会社からのご依頼を受け、大井食品館のある品川区でのご寄贈がかなう形で検討を進める中、日頃から熱心にこども食堂をサポートされている品川区社会福祉協議会様にご相談を申し上げたことが 最初のきっかけです。今回のフードドライブ活動の特色は、2点あります。1点は、主催者側の企業側が寄贈食品を集める際にしっかり対面で受取り、それを社員が自ら検品、集計をして、社会福祉協議会様へお届けするといったとても丁寧かつ安心安全なフードドライブ活動という点です。もう1点は寄贈食品や寄贈先のマッチングを、一番こども食堂のニーズを把握されている社会福祉協議会が協力して行ってくださった点です。こういった配慮のあるフードドライブ活動が、同じ地域の中でそれぞれの役割を担うことで、寄贈する側、受け取る側双方にフェアであり、かつ安心安全な サステナブルな地域共生型の食品寄贈スキームになると考え、本件がフードドライブ活動のいいケースモデルとして 他の自治体や企業においても普及し実施されることを期待しております。

必要とされる場所に必要な食をお届けすることで、地域の企業、市民（子どもたち）、自治体・社会福祉協議会などの 地域ハブ組織もみなさんが笑顔でつながれる活動として今後も普及してまいりたいと思います。

一般社団法人サステナブルフードチェーン協議会（略称：SFA）とは

HP : <https://www.j-sfa.net/>

Facebook : <https://www.facebook.com/sustainablefoodchain>



食品ロス削減など1社では取り組むことが難しい、フードサプライチェーンにおけるサステナビリティの課題について、緩やかなネットワークでつながった有識者と食品産業企業・団体が解決策を検証していくコンソーシアムです。

SFAでは、以下の取り組みを推進しています。

①『こどもスマイリング・プロジェクト』

未来のサステナブルな消費者を育てる食育を通じて、食品産業と子ども食堂をはじめとする子ども支援・福祉団体を運営されている方々と関係を構築し子ども支援につなげるプロジェクト。

HP : <https://www.k-smile-ring.jp/>

②『プラスチックの2Rに関する勉強会』

プラスチック資源循環法施行に向けて、食品産業における廃プラスチックの発生を減らす、なくすための具体的な取り組みを検討する勉強会の開催。

③『Honeybees' Community』

食品ロス削減などの課題解決に取り組む学生団体等の取り組みを紹介し、行動する人を増やすためのオンラインプラットフォーム。

④未来を担う子どもたちへの食品寄贈事業(東京都大学提案事業/専修大学受託事業)

東京都が都内の大学研究者から事業提案を募集し、都の施策に反映させる事業提案制度に、弊社理事・専修大学商学部渡辺達朗教授が立案した「子どもへの食品寄贈事業」が採択され、SFAもプロジェクトに参画し、2023年度から3年間実施。

こどもスマイリング・プロジェクトとは

HP : <https://j-sfa.net/kodomo-smilingpi/>



こどもスマイリング・プロジェクト

未来のサステナブルな消費者を育てる食育を通じて、食品産業と子ども食堂をはじめとする子ども支援・福祉団体を運営されている方々と関係を構築し子ども支援につなげるプロジェクト。

●職業体験型食育プログラム

未来のサステナブルな消費者を育てる食育プログラムの提供を通じて、食品産業と子ども食堂をはじめとする子ども支援・福祉団体を運営されている方々と直接信頼関係を構築し、子ども食堂をはじめとする子ども支援・福祉団体に通う子どもたちを対象に、エシカル消費が学べる食育プログラム「職業体験型食育プログラム」を提供し、子どもたちの心と体の成長に必要な『食』や食に関わる『職』の経験 機会を提供し、食品企業の様々な取り組みへの理解と地域への貢献を通じた持続可能な社会を目指す 仕組みの構築を目指しています。

●ハートドライブキャンペーン

夏・冬休み期間に「食」の貧困を抱える子どもたちに、通常販売する食材を企業から提供いただき、寄贈できる機会を創出するモデル事業として実施。子ども支援・福祉団体に通う子どもたちを対象に、それぞれの拠点に合わせた配布方法で食材を提供し、休み期間の子どもたちの食の困窮の一助となるよう食品寄贈のモデル事業として実施。

●その他

- ・寄贈食品の多様化に合わせた物流実証・食品寄贈時の中間組織（マッチング機能）の実証
- ・食品寄贈時の留意点をまとめたガイドライン策定に向けた知見共有・提言・講演など